



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

第一管区海上保安本部
交通部

平成21年9月 No. 2

9月1日から10日は「平成21年度漁船海難防止強化旬間」です。
全国では海難の3割が漁船ですが、北海道では6割と非常に多い状況です。

北海道周辺の漁船海難発生状況 (H16~H20、全451隻)



衝突115隻



転覆78隻



火災41隻

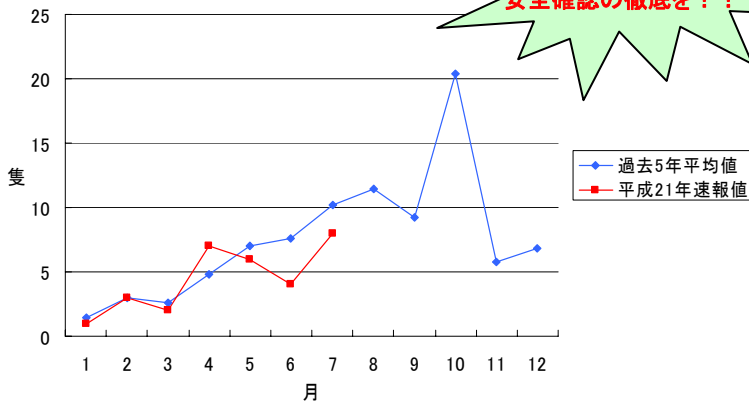


乗揚34隻

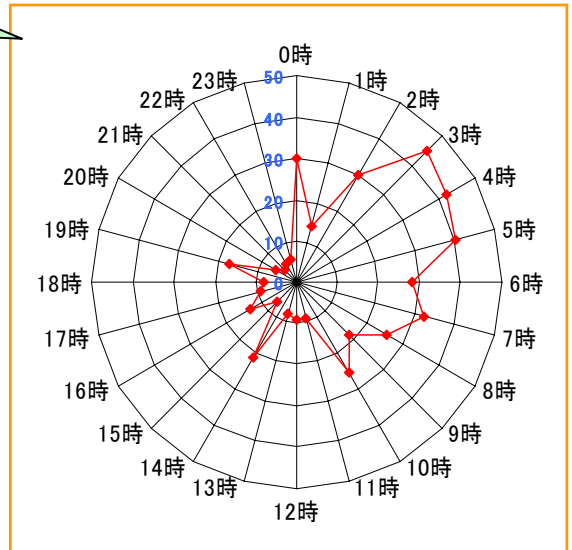
※その他183隻

月別

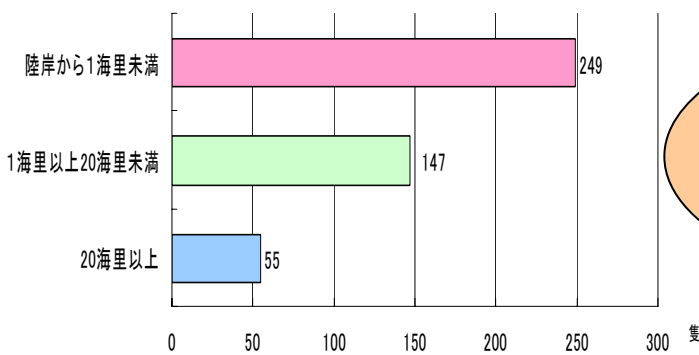
夏場にかけて増加！
安全確認の徹底を！！



時間別



距岸別



- ◆深夜3時から朝方にかけて多く発生
居眠りに注意しましょう。
- ◆5割以上が岸から1海里以内で発生



注意力が低下する時間帯、防波堤や浅瀬、そして港内にも危険がいっぱい。
いつもどおりはありません。港に着くまでは、気持ちを緩めないで！

AISによるさんま漁船操業に伴う注意喚起

7月8日から道東沖で操業する**さんま漁船**の**情報**について、右図の赤のラインを東航及び緑のラインを西航する付近通航船舶に対して、次のとおりAISメッセージにより提供中です。

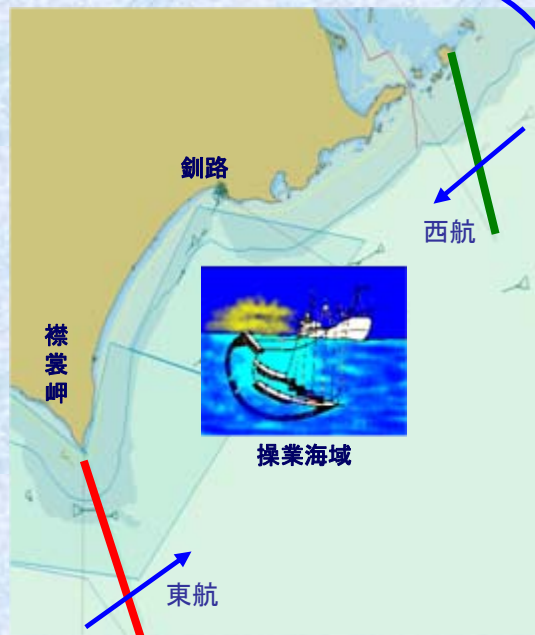
(7月・8月の情報提供回数:932回)

※ 本情報提供は、平成17年9月に根室沖で発生した外国貨物船とさんま漁船の衝突海難により漁船員7名が死亡したことを受け再発防止のため行っています。

AISメッセージの表示例

・小型漁船が昼夜を問わず操業中です。漁船及び漁具に注意して航行して下さい。

(AISメッセージは次のように全て英文で表示されます。)



<HOKKAIDO>SMALL FISHING BOATS ARE ENGAGED IN FISHING AROUND THE CLOCK NOW.
BE CAREFUL WITH THE FISHER BOATS AND THEIR FISHING GEARS IN THE VICINITY.

(事例)小樽高島沖のホタテ養殖施設への乗揚回避



平成21年1月30日午後2時31分、小樽港を出港した外国貨物船(総トン数:1,494トン)が小樽高島岬沖に設置されたホタテ養殖施設に向かって航行しているのを確認したため、VHFを使用して注意喚起したところ、同船は針路を変更して養殖施設への乗揚げを回避しました。

後に小樽保安部から地元代理店等に対し、入港船舶に対する経路上の漁具の設置状況の周知を行うよう指導しています。



AIS搭載船舶へのお願い

- (1) AIS装置の電源は常時ONにし、操作方法を確認しておきましょう。
- (2) 自船の位置情報が正しく入力されているか定期的に確認しましょう。
- (3) 船舶データ、船舶の動静(航行中、錨泊中等)、目的地およびETA(到着予定時刻)の航海関連情報を正確に入力しましょう。
- (4) AISメッセージの受信時に、受信音が聞こえるようにしましょう。
- (5) 連絡手段確保のためVHF(CH16)を常時聴取しましょう。

ご要望、ご意見は第一管区海上保安本部交通部まで
TEL 0134-27-0118 (内線2615、2623)

次号へ続く～